

**第3章 Pax Japonica に向けた戦略論（その14）****パックス・ジャポニカへの途**

～吉田ドクトリンの再定義と今後の展開に向けた一試論～

（担当執筆 ゲスト・リサーチャー 杉田 米行）

**1. はじめに**

2023年1月13日、岸田文雄首相は、米国ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際関係大学院(SAIS)において、「歴史の転換点における日本の決断(Japan's decisions at history's turning point)」という演題で講演を行った。その中で、彼は、戦後3つの大きな転換点があり、現在が4つ目の大きな転換点だと主張している。しかし、岸田首相は戦後日本外交・安全保障政策の連続性を見誤っており、自らの政策を過大評価している。本稿の目的は、戦後日本外交・安全保障政策の連続性とその意義を分析することである。

